

飼い主のいない猫(野良猫)に 餌を与えている方に考えてほしいこと



野良猫に餌を与える前に…

あなたが、お腹を空かせて鳴いている猫を見つけた時に心配な気持ちになることは自然なことです。
気の毒に思って餌をあげたくなるでしょう。

しかし、**あなたが猫のことを本当に大切にしたいと思うのであれば**、猫に餌を与える前に、**立ち止まって考えていただきたいことがあります。**

それは、「あなたが野良猫に餌を与える行為」が **猫自身や周りの人に様々な影響を与える** ということです。

猫という動物の特性として…

猫は非常に **繁殖力の強い** 動物です。餌を与え栄養状態が良ければその繁殖力はさらに強くなります。
保健所には餌を与えていたらあっという間に増えてしまったという相談がよくあります。

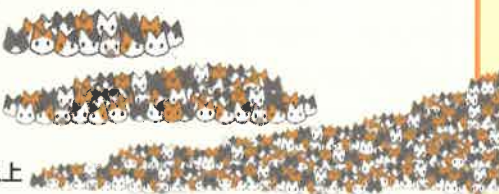
1頭のメス猫が…



1年後には**20頭以上**

2年後には**80頭以上**

3年後には**2,000頭以上**



○ 猫は1回の出産で **1～8頭ほど** の子猫を産み、
1年に**2～3回** の出産が可能です。

○ メスの猫は生後 **4～12ヵ月** で繁殖できるようになります。

○ 1頭の猫が **1年間で20頭以上** に増える可能性があります。

出典：環境省ホームページ (https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2305a/03.pdf)

猫が増えるとどんなことがおこるのでしょうか？

猫への悪影響

- ・縄張り争いが起こり、怪我をする
- ・猫同士の接触や喧嘩を通じて、猫白血病や猫エイズなどの感染症も流行しやすくなる
- ・交通事故にあう猫が増える

近隣住民への迷惑

- ・ごみ置き場が荒らされている
- ・庭の花壇に糞をされて困る
- ・鳴き声がうるさい
- ・大切にしている車やバイクを爪で傷つけられた
- ・倉庫内に野良猫が子猫を生んでしまった
- ・置いてある餌にハエが寄ってくるため不衛生である



**果たしてこのような状況はあなたが望んでいた状況でしょうか？
猫の不幸や猫による生活環境問題に責任が持てますか？**

裏面に続く

屋外で猫に餌を与える場合には、 守るべきルールがあります。

置き餌をしない

置き餌をすると、他の地域から猫が入ってくる、カラスがよってくる、ゴキブリやハエが発生してしまいます。

一日のうち餌の時間を決めて、適量を与え、猫が食べ終わったら、すぐに片づけてください。



トイレを用意する

餌を与えている猫がご近所の敷地で排泄すると、ご近所の方の迷惑になるため、ご自身の敷地内に猫用のトイレを設置してください。



不妊去勢手術を行う

不妊去勢手術をすることで猫を増やさないようにします。

その他の効果として、発情期の性衝動のストレスが少なくなり、猫同士のトラブルも少なくなります。



近隣住民に配慮する

猫の行動範囲をよく観察し、餌を与えている猫が近隣住民の迷惑になっていないか確認してください。

猫が嫌いな方やアレルギーをお持ちの方は猫が敷地内に入ってきただけで不快な思いをされることがあります。



野良猫の寿命は環境的に3～5年とされています。

しっかり管理すればその地域から野良猫はいなくなると考えられています。

ご存じですか？

ちいきねこかつどう

地域猫活動という方法もあります

- ・野良猫への餌を与えるルールをお示しましたが、一人ですべて行うのは難しいという場合は、近隣住民が協力して地域の猫問題に取り組む、地域猫活動という方法もあります。
- ・地域猫活動を実施した自治会へのアンケート結果では猫について困っていたこと(糞尿、新たな子猫の誕生等)が改善された声が寄せられています。
- ・岐阜県では、地域猫活動を行う自治会に対して**不妊去勢手術を無料**で実施するなどの支援を行っています。

お問い合わせ先



不妊去勢手術の証
V字の耳カット

飼い主のいない猫の大切な命を守りながら
トラブルを減らしましょう。